

| | | |
|----|--|----------------|
| 公表 | | 事業所における自己評価総括表 |
|----|--|----------------|

| | | | | |
|----------------|-------------------------|-----|--------|-----|
| ○事業所名 | ハッピーふじみ野教室 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年7月25日 ～ 2025年8月15日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 46名 | (回答者数) | 38名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年7月25日 ～ 2025年7月31日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) | 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年9月8日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | お子様がハッピーを楽しみに通所することができている。 | ・ 集団支援のカリキュラムがマンネリ化しないよう、教室内でカリキュラム会議を実施し、内容を話し合っている。季節のテーマを取り入れたイベントも定期的に実施している。 ・ 教室として暖かな雰囲気での関わりを意識しており、支援内で頑張ったことや挑戦できたことを褒める声掛けを意識している。 | ・ お子様の興味や得意なことをさらに深掘りし、反映させていけるよう、関わっていく。 ・ 保護者様との連携をより積極的に行い、お子様が「楽しい」と感じる理由を共有し合う時間を作っていく。 ・ 活動後に、「もっとやりたい」「また来たい」という声を大切にし、次の支援に繋げていく。 |
| 2 | お子様の様子や保護者様からいただいたご要望などは当日中に共有し合い、職員間での情報共有を意識的に行っている。 | ・ 支援記録や面談記録をごまめに記入し、職員間で回覧することで情報共有を行っている。終礼時に、支援での出来事や保護者様からのお話を共有する時間を設けている。 ・ 集団支援実施時には、お子様一人ひとりのニーズを確認し必要な対応を予め話し合っている。 | ・ 終礼時だけでなく、定期的なケース会議を実施し小さなことでも共有しやすい環境設定を行っていく。 ・ 集団支援後やイベント後に、振り返りの時間を設け次に繋がる改善点を見つけていけるようにしていく。 |
| 3 | 支援後のフィードバックや面談を丁寧に実施することができている。 | ・ 支援終了後に15分程度お時間をいただき、フィードバックを実施している。保護者様のご来所が難しい場合は、連絡帳にて支援での様子を共有している。 ・ 個別面談の依頼があった際は、できるだけ迅速な対応を心掛けている。 | ・ 支援での様子を振り返るだけでなく、日常生活や学校生活に関しても質問しながら、より深い内容でやり取りができるようにしていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ご利用者様に合わせた支援の工夫、専門的知識が不十分な点がある。 | ・ 職員の経験年数にばらつきがあったり、実践機会を十分に確保することができていない。 ・ 他の専門職からの学びや意見交換を十分に取り入れられていない。 | ・ 社内外で開催されている研修、勉強会に積極的に参加し支援スキル、特性に応じた関わり方を習得し、実践する経験を積んでいく。 ・ 他教室に在籍している専門職と繋がりを作り、疑問点を質問し合える環境を設けていく。 |
| 2 | 保護者会や地域との交流の機会が、あまり設けられていない。 | ・ 通常支援や個別での面談を集中的に実施しており、定期的な保護者会の実施ができていない。 | ・ 保護者会のテーマに関して保護者様にアンケートを実施して情報収集を実施したり、年間スケジュールの作成を検討していく。 ・ 教室に在籍している相談支援員とも連携を取りながら、近隣にある習い事施設や園、療育施設との繋がりを築いていく。 |
| 3 | ブログ・SNSの活用ができていない。 | ・ 教室内で発行している「おたより」や「(連絡アプリ)コノベル」での周知が主となっており、地域の方に向けた発信が行えていない。 | ・ 集団カリキュラム、イベントごとにブログ、SNSを発信していき、教室内で活動を周知していく。 |